



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社タクマ 上場取引所 東
 コード番号 6013 URL <https://www.takuma.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 州朗
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画本部 広報・IR部長 (氏名) 小林 寛幸 (TEL) 06-6483-2602
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	113,807	7.0	9,502	9.1	10,355	10.9	8,255	14.0
	106,395	1.5	8,709	39.0	9,336	31.6	7,242	46.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 11,635百万円(△75.1%) 2025年3月期第3四半期 6,645百万円(△22.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 110.63	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	91.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 185,510	百万円 108,845	% 58.2
2025年3月期	190,919	109,563	57.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 107,875百万円 2025年3月期 108,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 28.00	円 銭 —	円 銭 39.00	円 銭 67.00
2026年3月期	—	39.00	—		
2026年3月期(予想)				48.00	87.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	167,000	10.5	15,200	12.3	16,000	13.5	12,900	24.1	174.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2025年2月14日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却について決議いたしました。2026年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得及び消却の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 3社 (社名) (株)IHI汎用ボイラ、市川ハイトラスト(株)、東金ハイトラスト(株)
除外 0社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料の9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	80,536,800株	2025年3月期	80,536,800株
2026年3月期3Q	7,236,428株	2025年3月期	4,125,962株
2026年3月期3Q	74,618,619株	2025年3月期3Q	79,018,054株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

(単位：百万円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間				前年同期比増減額		
	受注高	売上高	営業損益	受注残高	受注高	売上高	営業損益
環境・エネルギー(国内)事業	230,367	87,109	10,050	704,423	58,692	7,652	1,740
環境・エネルギー(海外)事業	1,028	2,827	30	870	△559	△1,315	△770
民生熱エネルギー事業	24,696	18,465	1,129	12,767	8,369	4,193	41
設備・システム事業	7,150	5,653	427	8,893	733	△3,221	△80
計	263,242	114,055	11,638	726,955	67,237	7,309	931
調整額	△307	△247	△2,135	△75	53	103	△137
合計	262,935	113,807	9,502	726,880	67,290	7,412	793

当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、ごみ処理プラントやバイオマス発電プラントなど引き続き堅調な需要を着実に結びつけ、受注高は前年同期に比べ67,290百万円増加の262,935百万円となりました。また、売上高は主に環境・エネルギー(国内)事業および民生熱エネルギー事業の増加により7,412百万円増加の113,807百万円となりました。

損益面においては、主に環境・エネルギー(国内)事業の増益により、前年同期に比べ営業利益は793百万円増加の9,502百万円、経常利益は1,019百万円増加の10,355百万円、増益に加え投資有価証券売却益の計上もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,012百万円増加の8,255百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[環境・エネルギー(国内)事業]

当第3四半期連結累計期間においては、ごみ処理プラントのD B O事業（建設・運営事業）3件、基幹改良工事2件、バイオマス発電プラントの新設3件などを受注し、受注高は前年同期※に比べ58,692百万円増加の230,367百万円となりました。また、売上高は受注済みプラントの進捗等により前年同期に比べ7,652百万円増加の87,109百万円、売上高の増加に伴い営業利益は1,740百万円増加の10,050百万円となりました。

※ 前年同期の主な受注：ごみ処理プラントのD B O事業2件、基幹改良工事1件、バイオマス発電プラントの新設3件、下水汚泥焼却発電プラント1件など

[環境・エネルギー(海外)事業]

当第3四半期連結累計期間においては、受注高は前年同期に比べ559百万円減少の1,028百万円となりました。また、案件構成の変化により売上高は前年同期に比べ1,315百万円減少の2,827百万円、営業利益は770百万円減少の30百万円となりました。

[民生熱エネルギー事業]

当第3四半期連結累計期間においては、(株)IHI汎用ボイラの連結子会社化に伴い、前年同期に比べ受注高は8,369百万円増加の24,696百万円、売上高は4,193百万円増加の18,465百万円となつたものの、人件費等の固定費の増加により営業利益は前年同期並みの1,129百万円となりました。

[設備・システム事業]

当第3四半期連結累計期間においては、受注高は主に建築設備事業の増加により、前年同期に比べ733百万円増加の7,150百万円となりました。一方、売上高は建築設備、半導体産業用設備のいずれも減少し、3,221百万円減少の5,653百万円、売上高の減少に伴い営業利益は80百万円減少の427百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は185,510百万円と前連結会計年度末に比べ5,408百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が9,080百万円の増加、棚卸資産が5,706百万円の増加となったものの、受取手形、売掛金及び契約資産が25,098百万円の減少となったことによるものであります。

負債は76,665百万円と前連結会計年度末に比べ4,690百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、電子記録債務があわせて6,263百万円の増加となったものの、短期借入金が11,315百万円の減少となったことによるものであります。

純資産は108,845百万円と前連結会計年度末に比べ718百万円の減少となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が3,202百万円の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が2,376百万円の増加となったものの、自己株式の取得により自己株式が6,534百万円の減少となったことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は58.2%と前連結会計年度末に比べ1.2ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

【通期受注・売上見通し】

(単位：億円)

	期首計画 (①)		直近見通し (②)		差異 (②-①)	
	受注高	売上高	受注高	売上高	受注高	売上高
環境・エネルギー(国内)事業	2,085	1,265	2,900	1,295	+ 815	+ 30
環境・エネルギー(海外)事業	30	30	15	35	△ 15	+ 5
民生熱エネルギー事業	290	260	290	260	-	-
設備・システム事業	100	100	100	85	-	△ 15
計	2,505	1,655	3,305	1,675	+ 800	+ 20
調整額	△ 5	△ 5	△ 5	△ 5	-	-
合計	2,500	1,650	3,300	1,670	+ 800	+ 20

当社グループの2026年3月期の業績につきましては、受注高は、環境・エネルギー(国内)事業においてごみ処理プラントのD B O事業（建設・運営事業）や基幹改良工事など大型案件の受注が計画を上回るペースで推移していることなどから、330,000百万円と従前の予想を大幅に上回る見通しです。また、売上高および損益面は、設備・システム事業において売上高の減少を見込むものの、環境・エネルギー(国内)事業においてメンテナンスなどのストック型ビジネスが順調に伸びているほか、受注済みプラントの建設工事が順調に進捗していることから、売上高は167,000百万円、営業利益は15,200百万円、経常利益は16,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益及び経常利益の増加に加え、政策保有株式の縮減を進めることに伴い投資有価証券売却益の増加を見込むことから、12,900百万円といずれも従前の予想を上回る見通しです。

また、2026年3月期の期末配当予想につきましては、従前の予想である40円から8円増額の1株当たり48円とさせていただく予定です。これにより、当期の年間配当金は、1株当たり87円（うち中間配当金39円）となる予定です。

なお、上記の修正につきましては、本日（2026年2月13日）「2026年3月期業績予想の修正及び配当予想の修正（増額）に関するお知らせ」として開示しております。

当社グループでは、通常の事業形態として、納期が連結会計年度末直前となる工事が多く、第4四半期にかけて進捗、引渡しが多くなる傾向にあり、業績においても第4四半期での売上高が他の四半期と比較して大きくなるなど季節的変動が大きいことから、業績管理については年次のみで行うこととしております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,431	48,511
受取手形、売掛金及び契約資産	82,293	57,195
棚卸資産	11,934	17,640
その他	2,665	3,553
貸倒引当金	△16	△77
流動資産合計	136,309	126,823
固定資産		
有形固定資産	18,763	18,256
無形固定資産	958	1,415
投資その他の資産		
投資有価証券	22,102	26,018
その他	12,920	13,162
貸倒引当金	△135	△166
投資その他の資産合計	34,887	39,014
固定資産合計	54,609	58,687
資産合計	190,919	185,510

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,028	25,061
電子記録債務	8,411	14,640
短期借入金	12,086	770
未払法人税等	1,581	2,222
契約負債	9,164	11,037
賞与引当金	4,231	2,715
製品保証引当金	174	183
工事損失引当金	827	588
その他	8,011	5,732
流動負債合計	69,515	62,952
固定負債		
長期借入金	-	80
役員退職慰労引当金	248	267
退職給付に係る負債	11,196	11,899
その他	395	1,464
固定負債合計	11,839	13,712
負債合計	81,355	76,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,708	3,735
利益剰余金	89,846	92,222
自己株式	△6,352	△12,886
株主資本合計	100,569	96,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,904	11,107
繰延ヘッジ損益	39	28
為替換算調整勘定	96	181
退職給付に係る調整累計額	123	120
その他の包括利益累計額合計	8,165	11,437
非支配株主持分	829	969
純資産合計	109,563	108,845
負債純資産合計	190,919	185,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	106,395	113,807
売上原価	83,566	87,461
売上総利益	22,828	26,345
販売費及び一般管理費	14,119	16,843
営業利益	8,709	9,502
営業外収益		
受取利息	40	88
受取配当金	679	702
持分法による投資利益	45	27
その他	161	170
営業外収益合計	927	988
営業外費用		
支払利息	3	13
コミットメントフィー	21	19
為替差損	221	-
自己株式取得費用	14	68
その他	40	33
営業外費用合計	301	134
経常利益	9,336	10,355
特別利益		
投資有価証券売却益	765	1,625
特別利益合計	765	1,625
税金等調整前四半期純利益	10,101	11,981
法人税等	2,746	3,649
四半期純利益	7,354	8,331
非支配株主に帰属する四半期純利益	111	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,242	8,255

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	7,354	8,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△804	3,202
繰延ヘッジ損益	60	△11
為替換算調整勘定	6	116
退職給付に係る調整額	29	△2
その他の包括利益合計	△708	3,303
四半期包括利益	6,645	11,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,534	11,527
非支配株主に係る四半期包括利益	110	107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した㈱IHI汎用ボイラを連結の範囲に含めております。また、新たに設立した市川ハイトラスト㈱を連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間より、新たに設立した東金ハイトラスト㈱を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月14日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式3,178,700株の取得を行っております。この結果、単元未満株式の買取による取得等も含め、自己株式が6,534百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	79,140	4,138	14,244	8,872	106,395	—	106,395
セグメント間の内部売上高 又は振替高	316	4	26	2	350	△350	—
計	79,457	4,142	14,271	8,874	106,745	△350	106,395
セグメント利益	8,309	801	1,088	508	10,707	△1,997	8,709

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,997百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,132百万円及びその他の調整額135百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	86,906	2,819	18,432	5,649	113,807	—	113,807
セグメント間の内部売上高 又は振替高	202	7	32	3	247	△247	—
計	87,109	2,827	18,465	5,653	114,055	△247	113,807
セグメント利益	10,050	30	1,129	427	11,638	△2,135	9,502

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,135百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,261百万円及びその他の調整額126百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間
(自 2024年4月1日
至 2024年12月31日)

当第3四半期連結累計期間
(自 2025年4月1日
至 2025年12月31日)

減価償却費

1,418百万円

1,493百万円